

多文化共生センターってどんなところ？

交流イベント

日本や他国の文化紹介・体験、さまざまな国籍の人との交流会、防災交通ルールの講習などを行う予定です。

誰でも参加可能です。お気軽にご参加ください。



相談窓口

仕事や生活のことなどを母国語で相談できます。

日本人（雇用主、知人、家族など）も外国人に関することを相談できます。



☎080(4354)4288

営業時間

午前10時～午後4時（土・日・祝を除く）

光の森町民センター内

日本語教室

毎週（火） 午前10時～11時

ボランティアの人と一緒に生活で使える日本語を自分のレベルに合わせて学べます。

日本の文化に触れながら楽しく学習できます。



気軽に私たちに声をかけてみて



相談員

ぶんぎょうしゆく
文 暁淑さん

コーディネーター

いしかわ あゆみ
石川 亜由美さん

外国語が話せなくても大丈夫！

「やさしいにほんご」で話してみよう

「やさしいにほんご」とは、ふだん使われているむずかしい言葉や表現を、分かりやすく言い換えた日本語のことです。

やさしいにほんごの始まりは、1995年の阪神・淡路大震災がきっかけです。日本語も英語も分からない多くの外国人も被害を受けました。当時、十分に理解できず、必要な情報を受け取ることが出来なかったことから、やさしいにほんごが生まれました。

やさしいにほんごのポイント

- ゆっくり話す
- 難しい言葉を使わない
- 1文を短く区切って話す
- あいまいな表現をしない
- カタカナ語は避ける
- 漢字だけでの表記はせず、ふりがなをつけたり、ひらがなを使用する
- イラストを活用する

やさしいにほんごに言い換えると…

出身はどちらですか？	→ どの国から来ましたか？
土足禁止	→ 靴を脱いでください
分別	→ 種類で分けること
メモを取ってください	→ 書いてください
直ちに避難してください	→ すぐ逃げてください

町でもやさしいにほんごで
情報発信しています！



Instagramは
こちら



Facebookは
こちら



「こんにちは」からはじまる

世界がつながるまちづくり



詳しくは
こちら

☎ 総合政策課 企画政策係 ☎096(232)2112

町では、年々外国人の転入者が増加しており、外国人の住民が孤立することなく、日本人と外国人が互いの違いや多様性を認め合い、ともに地域社会の一員として安心して生活できる社会を目指しています。

菊陽町に住む外国人住民は

29カ国

1,239人

（令和8年7月末時点）



菊陽町多文化共生センターがオープンしました

8月18日（火）に菊陽町多文化共生センターがオープンしました。

式典では、センターが日本人と外国人との架け橋となり、誰もが安心して暮らせる温かいまちとなるよう願いを込めて、パズルセレモニーを行いました。

式典後、世界の民族衣装を展示し、参加者は衣装の試着や、プチ縁日などの日本文化を楽しむワークショップに参加し、会場は大いに盛り上がりしました。



- 1 ヨーヨー釣りに挑戦 2 オリジナルうちわづくり
3 外国の民族衣装を試着 4 パズルセレモニーの様子



ほんだ るい
本田 琉偉さん親子

安心メールを見てきました。
子どもが特に楽しんでいて、お菓子もいただいたのでよかったです。
外国の文化を体験できるイベントやお料理のイベントがあれば、ぜひまた参加したいです！



こう じやけい
高 佳楷さん親子

ビーンボウリングは、ストライクが出るまで何回も挑戦しました！
また、こういうイベントがあったら参加したいです！